

8月14日

テーマ：「**柔和な者は幸いです**」

聖書箇所：**マタイの福音書5章5節**

◆今日のみことば

柔和な者は幸いです。その人たちは地を受け継ぐから。

マタイの福音書5章5節

◆メッセージ

柔和って、あまり聞かない言葉ですね。聖書でこの言葉が使われる時は、自分のことを威張ったりしないで神さまの言葉に従い、人に優しくしてあげられる人のことを表しています。

聖書に出てくる人の中では、モーセさんが柔和な人として紹介されています。エジプトを脱出したイスラエルの民を導いていたモーセさんですが、何度も人々から文句を言われ、嫌な思いをさせられました。でも、モーセさんは神さまにすべてをゆだねている人です。自分で仕返しをしません。だから、柔和です。モーセさんはいつもへりくだって、神さまに逆らう人々のために「彼らをお赦しください」と、神さまにとりなしを祈りをささげるほどでした。



聖書の中にはそんなモーセさんより、もっと柔和な方が紹介されています。それが、私たちの救い主イエスさまです。イエスさまは何の罪も犯したことがなかったのに、人々からバカにされ、ムチ打たれて、十字架に付けられ、その命を投げ出してくださいました。それは、イエスさまを信じるすべての人がその罪をゆるされて、神の子どもとされるためでした。イエスさまは自分を十字架に付けた人々のために、「父よ、彼らをお赦しください。彼らは自分で何をしている

のか分らないのです」と、彼らの罪の赦しのために祈ってくださいました。このイエスさまの姿こそ、本当の「柔和な者」の姿です。イエスさまも神さまにすべてをゆだねておられました。

あなたは、友だちと自分を比べて威張ったり、人のことをバカにしたりしていませんか。イエスさまを信じる私たちは、そのような自己中心と高慢の罪から離れて、いつも神さまの言葉にしたがひ、誰にでも優しくしてあげられる人になりたいですね。神さまがすべてをしてくださる、ということがわかると、神さまの前にへりくだってすべてをゆだね、柔和になることができます。そうするなら、神さまは「その人は地を受け継ぐ」と約束してくださっています。イエスさまを見習い、モーセさんのようにへりくだって、「神さま、私に柔和な心を与え、人に優しくしてあげられる人になれますように」と祈りつつ、神さまの言葉に従って歩みましょう。



◆お祈り

「神さま。私に柔和な心を与えて、神さまの言葉に従う者としてください。人に対して威張らず、優しくしてあげられる心を与えてください。」 (五日市書教会牧師 中尾信一)